



紅葉が美しい季節となりました。感染が少しずつ落ち着いて、トンネルの先に光が見えてきたという感じでしょうか。でもここで気を緩めすぎるのは禁物ですね。

今月は**聖母マリア**の月です。いつも何か起きるたびに、慌てずじっと祈り、神様を信頼し、み旨を受け入れられる聖母マリアの取り次ぎを願って祈りましょう。

内容 信徒委員会から 主日のミサ・車いすの寄附・優先席・電気ポット使用 などについて
 財務部 / 典礼部 / アートデイズ / 感謝のつどいを終えて / 感謝
 【寄稿】平和 【連載】主に呼ばれて (12)

<信徒委員会からのお知らせ>

1. 今後の主日のミサについて

2 グループ制、隔週で参加できる形を続けます。ご自分がどちらのグループに属するか、ご確認の上、教会にお出かけください。ミサに参加する義務は免除されておりますので、健康に不安のある方はご自宅でお祈りされることをお勧めします。

グループ	地 区	10月	11月
1グループ	大宮区、北区、西区、中央区、桜区	23日	6、20日
2グループ	見沼区、岩槻区、緑区、上尾・伊奈（原市を含む）、蓮田、白岡・久喜	30日	13、27日

<地区名変更のお知らせ>

「伊奈・原市（上尾）」から「上尾・伊奈」に名称を変更しました。

2. 車いすご寄附のお願い

教会の備品の非常用の車いすが故障し、買い替えが必要となりました。ご家庭で不要となった、状態の良い車いすがございましたら、寄付をお願いいたします。受付にお申し出ください。

3. 聖堂の感染対策について

感染症が収まりつつありますが、引き続き聖堂内での対策は続けます。**ミサの前後、聖堂内での会話はできるだけお控え下さるよう**、お願いいたします。（必要な場合はロビーに出てお話し下さい。）

4. 歩行補助具等をお使いの方のための優先席について

歩行が困難で補助具等（シルバーカーなど）をお使いの方のための優先席を用意してあります。

表示がある席は対象外の方はお座りにならないようお願いします。（なお車椅子用のスペースは聖堂前列左端(司会者の脇)となっています。）

5. 電気ポットの使用について

先日、**台所のガスの火が長時間つけたままだった**ことがわかりました。一つ間違えると大変なことになりますので、火の取り扱いはくれぐれもお気を付けください。台所を出る際は、消火を必ずご確認ください。

しばらくの間、お湯を沸かすのは電気ポットをお使いください。

<財務部より>

これまでは教会維持費と教会修繕募金の納入袋を別々にしていましたが、今後一つの納入袋にまとめる方針です（詳しくは後日ご案内します）。ご理解ご協力のほど、よろしく願いいたします。

<典礼部より>

1. 死者の日のミサについて

11/2は死者の日ですが平日のため、11/6（日）と11/13（日）を死者のためのミサとします。今年は帰天された方の写真を祭壇に飾らず、事前に名前をカードに記入していただき、祭壇に奉納し祈って頂きます。10/23よりカードを用意します。

2. 新しいミサ式次第について

11/27より新しくなるミサの式次第について、横浜教区典礼員会による「模擬ミサ」の動画がYouTubeで見ることができます。

（「横浜教区」→「新しい『ミサの式次第』研修用動画」へ。事前に見ておくイメージがつかめます。

<https://www.youtube.com/channel/UCUi9XjrJgJiwzwHb5f15flQ>



<アートデイズより>

Art Days 2022は11/1から11/30までWeb配信の形で大宮教会のHPからご覧になれます。

また出品したアート作品やポストカードを11月の主日のミサ後に販売いたします。



感謝

上尾・伊奈地区の平松さんご夫妻が、長年にわたって手作りの野菜を日曜日のミサ前後に販売して下さっています（不定期）。新鮮でおいしい野菜を安価で販売され、売り上げは全て教会の献金に下さっています。いつもありがとうございます。



† 主に呼ばれて (12) †

ホームステイ先のお母さんが勤務する学校で、スクールキャンプという移動教室のようなものに行くことになり、誘ってもらえました。6年生2クラスで行きました。担任の先生、修道院のブラザーが引率でした。子供たちはスクールバス、先生たちは自家用車、ブラザーはテントなどを積んだ小さいトレーラーを車で引っ張って行きました。

町から北東に80km弱のところ国立公園があり、そのキャンプ場に行きました。日本の移動教室は宿に泊まりますが、本当にスクールキャンプでテントに泊まります。

キャンプ場に着くと、最初はテント張り。テントを張らないと寝ることができないので、子供たちも一生懸命やっていました。テントもそれぞれの家庭から借りてきているので、タイプも違って、簡単にできてしまうグループもあれば、苦労しているグループもありました。

私は小学校から高校までボーイスカウトでテント張りはよくやっていたので、子供たちを手伝いました。大人はキャンプ場にある、キャンピングカーで寝ます。車に引っ張られるタイプの大きなキャンピングカーなので、ベッドがいくつもあり、ゆったり寝られました。

食事は保護者の方が交代で作りに来てくれます。といっても、朝はシリアル、昼はサンドイッチなので、作るのは夕食だけで、あとは準備だけです。

2日目は登山に行きました。朝、食事の後にパン、レタス、チーズ、ハムなどが並べられ、子供たちは自分の昼食になるサンドイッチを作ります。パンの間に具を挟むだけなので、お弁当と違って子供たちでも作れます。

登山は西オーストラリアで2番目に高いという山に登りました。岩だらけの山でとても登りにくかったです。子供の中に片足が不自由な子がいて、最後になってしまうのでその子供と一緒に登りました。やはり足が不自由なため、山を登るのは大変で、弱音を吐きながらゆっくりと登って行きました。彼女の周りには友達がその子が弱音を吐くたびに励ましながら、登っていました。本当に大変だったのですが、友達は見捨てることなく、一緒に頂上を目指そうという気持ちで「大丈夫だよ」「あともう少し」などのような声掛けをしながら、ゆっくりとしか登れないその子に付き合っただけで登りました。

何とかみんな頂上に登ることができました。ほかに高い山がないので、遠くまできれいな景色が見られました。

夜はミーティング。何をするかと思ったら、このキャンプで褒められる行動をしたのは誰かというのを発表していきます。めいめいが自発的に「Aさんは、テント張りをがんばっていた」など、そんなにすごいことではなかったですが、子供たちは次々にクラスメイトのいい点を発言していきます。相手の良い点を認めるというのは、私が育ってきた日本の教育ではなかったもので、新鮮でした。私も足の不自由な子と一緒に山登りをしたのと言ってもらいました。担任の先生は、ほめられた子がいるとその子に向かって、チョコレートを投げます。私も担任の先生から飛んできたチョコレートをいただきました。

卒業に向けては、ビーチへの遠足などお楽しみもありましたが、カトリックの学校だったので、感謝ミサがありました。

卒業する少し前の日に夕方に教会で行いました。ろうそくを一人一人の卒業生がもち、夕方から少しずつ暗くなるなか、厳粛な雰囲気でもミサに与ることができました。卒業まで成長したことを神に感謝し、ミサをささげることができるのはカトリックのいいところですね。

見沼区 斉藤



大宮教会クイズ No.8 ～今年、大宮教会は60周年を迎えます～

大宮教会に来ている皆さんが、教会のことをもっと知って頂き、一人ひとりが大宮教会を支えていることを自覚して頂けたら嬉しいです。

今回のキーワードは先月に引き続き「大宮教会の自主グループ」についてです。

Q：大宮教会で活動しているおむすびの会はどのような方におむすびを届けているのでしょうか？

- ① 老人介護施設の方 ②教会の信者 ③路上生活を余儀なくされている方

→ クイズの答えは11月号で！！

9月号(大宮教会クイズ No.7)の答え → ②でした。

アルファコースは主に求道者のためにキリスト教の基礎を学ぶグループです。既に受洗された方も参加可能です。

*ご意見や投稿（本などの感想、特集してほしいことなど）を募集しています。FAX か郵送で受け付けています

〒330-0803

さいたま市大宮区高鼻町2丁目350

カトリック大宮教会 広報部宛



感謝の集いを終えて

10/2（日）「感謝の集い」を3年ぶりに開催することが出来ました。

コロナ禍で不安もありましたが、谷神父様のご希望もあり、私たち地区委員も同じ気持ちで準備を行い、実現することが出来ました。沢山の方々のお力も頂きありがとうございました。招待者52名、同伴者他合わせて総勢約80名様のご出席でした。

「感謝の集い」は75歳以上の方を対象に、教会の皆さままでお祝いする行事の一つです。

これまで長い間、大宮教会を支え守って来てくださった方々に感謝に気持ちを込めて開催いたしました。

グループの垣根を超えた集まりは久しぶりで、「懐かしい方々との会話とお元気な姿を見ることが出来、元気を頂きました。」と嬉しい言葉もあり、私たち地区委員もほっとした次第です。

皆様にお渡ししたカードの詩編は谷神父様を選んでくださいました。

「白髪になってもなお実を結び、命に溢れ、いきいきとし」 詩編 92.15

まだまだこれからです。私たちの道しるべとなり、なお一層のご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

余談ですが、ガラガラポンで当選された方々は一地区に偏らず、公平に8地区からお一人以上の方が偶然に選ばれました。谷神父様たちのおかげです。また、これは神様からの等しい愛の表れでしょうか。当選された方もそうでない方も、神様は等しく愛を注いでくださっておられます。私は何故か地区から公平に選ばれたことが嬉しくなり、ひそかに微笑んでしまいました。

コロナが収束すれば、また皆様とご一緒にごミサに与れると思います。その日が来ることを楽しみにしております。

神に感謝



地区部 藤本

※感謝の集いのスナップ写真を1階ロビー(階段下)に置いてあります。

焼き増しをご希望の方は、それぞれの写真の下に**お名前**と**枚数**をご記入ください。

(Lサイズ：45円、2Lサイズ：130円、締め切り:11/20)

「平和」

昭和19年の夏、私の家
行くことになりました。

族は全員8名で旧満州へ
父親はナショナル金銭

登録機の会社に勤めていました。旧満州行きは、父母の都合か、国の都合かわかりません。私が国民学校4年の夏でした。私はこれから行く先のことと、父の実家の住所を父から口づてに教わりました。

それから1年たち、昭和20年8月15日、敗戦の知らせを新京で聞き、大人がみな地面に這いつくばり泣いている姿がありました。

日本に帰れない日が続き、二人の妹を亡くし、姉の夫を亡くし、家長の父を亡くし、生き残りの兄弟で泣き続けたのを覚えています。

大人の二人を埋葬できて数か月後、やっと日本に病気の姉の付き添いとして、貨物船の船底に乗り、佐世保に向かいました。

本土が見えてもコレラが出ると沖に戻され、姉は日本の土が踏みたい、と佐世保の病院に…これが姉との最後でした。一足先に上陸した姉は亡くなっていました。私は一人になってしまった。

兄と姉の遺骨を抱えて父の実家に向かいました。佐世保から上野へ、そして群馬県利根郡にたどり着いたのは小学6年の冬でした。

信じられない不思議な出来事でした。

負けてはいられないのは、小学4年から6年の間の勉強でした。

祖父母、母親との中学生生活を終えて、自分の目指す道のために叔父の家、飛鳥山公園近くで通学していた時に、ゼノ神父様にお会い致しました。

東京北区の飛鳥山公園内に聖母の騎士神学院が朝5時から開かれています。

黒い僧衣のゼノ神父様や白岡修士様はご指導かお祈りかご自身の学びのためなのかはお聞きしたことはありませんでしたが、王子駅と学院を歩きかうお姿がありました。

叔父の店にも寄ってくださいました。どんな話をしたかは記憶にはありませんが、心が穏やかになるのをいつも感じていました。

あれからゼノ神父様はアリの街に行かれて、のちに自国に帰られたとお聞きしております。

そのころ、私の運命が変わるかもしれない話が持ち上がっていました。神学院に通われていた方ですが、ローザさんをお嫁にほしいと祖父母と母に申し入れたとか。その方は長崎の方でした。長崎に嫁いでしまったら寂しいからと、私には話さずにお断りしたとのことでした。

もし受けていたら、どんな暮らしをたどっていたでしょうか。

あれから70年も過ぎ、米寿を前に大宮教会に通い、皆様のご支援を頂いて迎えたこの日です。

ボロボロになるまで学んだ公教要理、日に焼けてコーヒー色になり、私の手元で大事にロザリオと共に今も生きる力となってくれています。

神に感謝

西区 マリア・ローザ 猪俣いか